



よりよい学校づくりに向けて ～第2回学校運営協議会を開催しました～

清瀬第三中学校 副校長 渡辺 千寿

7月7日(火)、第2回学校運営協議会を開催しました。

まず、委員の皆様には授業を参観していただき、生徒たちの学校生活や学習の様子をご覧いただきました。参観後には、「学校全体が年々落ち着き、生徒たちが真面目に授業へ取り組んでいる姿が印象的でした」「先生と生徒との関係が良く、安心して学べる雰囲気が感じられました」といった感想をいただきました。日頃から一生懸命に学校生活を送る生徒たちの姿や、教職員が力を合わせて取り組んできた教育活動を、委員の皆様にも実感していただけたことを大変うれしく思います。



協議会の様子

協議会では、「社会総掛かりで生徒たちを育てる」をテーマに、本校が目指す学校づくりについて話し合いました。生徒たちの成長を支えるためには、学校だけでなく、家庭や地域の皆様とのつながりが欠かせません。清瀬には豊かな自然や農園、さまざまな分野で活躍されている方々など、多くの教育資源があります。こうした地域の力を生かした学びを充実させることで、生徒たちの学びはさらに豊かなものになると考えています。

熟議では、「農園と連携した体験学習を取り入れてはどうか」「地域で活躍する方から仕事や生き方について話を聞く機会があるとよい」など、多くの貴重なご意見をいただきました。学校だけではできない学びを地域の皆様とともにつくり上げていくことが、生徒たちの主体性や社会性を育むことにつながると改めて感じました。今後は、いただいたご意見を教育活動に生かし、地域とともに歩む学校づくりをさらに進めてまいります。

本校の生徒たちは、地域でも活躍しています。ひまわりコンサートでは吹奏楽部が演奏を披露し、7月25日に開催される「きよせ環境・川まつり」では、生徒会役員がリサイクル資源を活用した手づくり縁日を企画・運営します。地域の行事に参加し、多くの人と関わる経験は、生徒たちにとって学校では得られない貴重な学びとなっています。

生徒たちの健やかな成長には、学校・家庭・地域が同じ願いをもち、それぞれの立場から支えていくことが大切です。生徒たちは、周りの大人の姿を見ながら、多くのことを学んでいます。温かな声掛けや見守りが、生徒たちの安心感や挑戦する気持ちを育てます。

これからも本校は、地域とともに歩みながら、一人一人の生徒たちが安心して学び、自分らしく成長できる学校づくりを進めてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。